

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 28 年度第 6 回 議事録

担当：峯岸邦夫

日時	平成 29 年 3 月 8 日 (水) 14:45-17:40					場所	地盤工学会会議室	
部長	松本 樹典	○	理事	仙頭 紀明	○	幹事	峯岸 邦夫	○
部員	浅田 素之	○	部員	伊貝 聡司	○	部員	海野 寿康	×
★部員	大向 直樹	○	★部員	小早川博亮	○	★部員	肴倉 宏史	×
部員	佐藤 毅	○	部員	高柳 剛	○	部員	浜田 英治	○
部員	平井 貴雄	×	部員	藤原 照幸	○	部員	宗像 保男	○
オブザーバー	中川 直	×						
						事務局	齋藤・長尾	○

★：H28 年度新任

○：出席 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 - 28.6.0	平成 28 年度 第 5 回基準部会議事録案
資料 - 28.6.1	平成 29 年度予算案（第三次）、積算資料
資料 - 28.6.2	平成 28 年度予算執行状況、書籍売上・在庫数、
資料 - 28.6.3	平成 29 年度事業報告「まえぶん」
資料 - 28.6.4	ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG（経産省受託）2017 年度構成
資料 - 28.6.5	岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討 WG 設立趣意書ほか
資料 - 28.6.6	規格・基準に関する細則の改訂
資料 - 28.6.7	JIS A 1221(スウェーデン式サウンディング試験)の改正
資料 - 28.6.8	2016（平成 28）年度技能試験報告会開催
資料 - 28.6.9	平成 29 年度技能試験 会告（5 月号）
資料 - 28.6.10	理事会（H29/1/27）、（H29/2/24・書面）報告資料
資料 - 28.6.11	JIS A1221 の正誤
資料 - 28.6.12	ISO 国内委員会国際会議派遣一覧
資料 - 28.6.13	地盤工学用語 JIS 原案作成委員会 進捗メモ
資料 - 28.6.14	室内試験規格・基準委員会・WG 活動報告
資料 - 28.6.15	地盤調査規格・基準委員会・WG 活動報告
資料 - 28.6.16	JIS 原案作成委員会（動的コーン貫入試験方法）報告
資料 - 28.6.17	2017 年版 JIS ハンドブック 編集委員会 議事録
資料 - 28.6.18	JIS 規格素案 物理特性関連 9 規格
資料 - 28.6.19	地盤環境スクリーニングに関する ISO 翻訳 JIS 原案作成委員会設立趣意書(追加資料)

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-28. 6. 0, pp. 1-6)

峯岸幹事より、資料に基づき前回議事録(案)について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。
 2. 全体関係
 - (1) 平成 29 年度 [2017 年度] 予算 (三次予算) (資料-28. 6. 1, pp. 7-8)

松本基準部長より、資料に基づき基準部の平成 29 年度予算 (三次案) について説明がなされ、確認された。なお、二次予算案からからの主な変更点は、収入の部で基準英訳化の寄付金を 0 から 150 万 (10 万円@15 社) へ増額、赤本・青本の販売数などを増加、支出の部は委員会経費を二次案から 30%減の 156.6 万へ削減 (ex.基準部会 6 回/年→3 回/年、残り 3 回はメール会議) などである。
 - (2) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料-28. 6. 2, pp. 9-12)

齋藤事務局員より、資料に基づき 1 月末までの基準部予算執行状況、丸善および学会事務局で取り扱っている書籍の販売実績について説明がなされ、確認された。
コルゲートメタルカルバート・マニュアルの増刷については、在庫数が 5 冊であるが出来るだけ在庫が 0 にならないようにすることが確認され、次回メール審議を行うことになった。
 - (3) 2017 (平成 29) 年度基準部会の開催時期・回数
松本基準部長より、次年度は基準部の委員会経費を削減するため、基準部会の開催を 6 回/年から 3 回/年にする、残りの 3 回はメール会議にすることが提案され、承認された。
 - (4) 平成 29 年度事業報告「まえぶん」 (資料-28. 6. 3, pp. 13-14)

松本基準部長より、資料に基づき「まえぶん」(案) について説明がなされ、各担当部員が内容を確認して、修正加筆が必要な場合は、3/17 までに松本部長へ申し出ることになった。
 - [3 月理事会報告]** (5) 動的コーン貫入試験方法 (小冊子) 増刷
齋藤事務局員より、資料に基づき在庫数が 14 冊になったため増刷について提案があり、審議の結果、次年度の予算で 200 部増刷することになった。
 - (6) その他
特になし
 3. 委員等の異動
 - (1) 室内試験規格・基準委員会
特になし
 - (2) 地盤調査規格・基準委員会
特になし
 - (3) ISO 国内委員会
ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG (経産省受託) 2017 年度構成 (資料-28. 6. 4, p. 15)
 - [3 月理事会審議]** 招請委員
浅田部員より、資料に基づき委員構成について説明がなされ、審議の結果、招請委員 13 名を含む委員構成が承認された。
 - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
特になし
 - (5) 表記法検討委員会
特になし
 - (6) 技能試験実施委員会
特になし
 - (7) 基準英訳化に関する実行委員会
特になし
 - (8) 部員の異動
特になし
4. ISO 国内委員会 関係
 - (1) 地盤環境スクリーニングに関する ISO 翻訳 JIS 原案作成委員会設立趣意書 (資料-28. 6. 19, 追加)

浅田部員より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、承認された。
なお、翻訳に関わる費用については JSA に相談することになった。

5. 地盤工学表記法委員会 関係
特になし

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

(1) JIS 規格素案 物理特性関連 9 規格

資料-28.6.18 別冊

- ① JIS A 1201 土質試験のための乱した土の試料調製方法
- ② JIS A 1202 土粒子の密度試験方法
- ③ JIS A 1203 土の含水比試験方法
- ④ JIS A 1204 土の粒度試験方法
- ⑤ JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験方法
- ⑥ JIS A 1209 土の収縮定数試験方法
- ⑦ JIS A 1223 土の細粒分含有率試験方法
- ⑧ JIS A 1224 砂の最小密度・最大密度試験方法
- ⑨ JIS A 1225 土の湿潤密度試験方法

7. (2)の審議を先に行い、その後、当審議を行った。

仙頭理事より、資料に基づき 3/3 時点の JIS 規格素案 9 案について説明がなされた。

②、③、④、⑥、⑨の規格は ISO と整合を図るもので、その他は JIS のみの規格となる。

なお、後刻最新版を仙頭理事より送信するので、各部員は 1 週間程度で確認をして修正箇所などがある場合は、仙頭理事へ連絡をすれば、各素案作成の WG で対応をして頂けるとのことであった。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

【3 月理事会報告】 (1) WG 新設：岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討 WG (WG15)

(資料-28.6.5, pp. 16-46)

浜田部員より、資料に基づき WG 新設の提案がなされ、審議の結果、承認された。なお、H29 年度は 4 回程度 WG の開催を予定しているとのことであった。

(2) 規格・基準に関する細則の改訂

(資料-28.6.6, pp. 83-87)

6. (1)に先立ち審議が行われた。

浜田部員より、資料に基づき細則改訂の提案があり、審議の結果、資料中の図-1 (フロー図) について再検討をすることになり、次回の部会で再度審議を行うことになった。

(3) JIS A 1221(スウェーデン式サウンディング試験)の改正

(資料-28.6.7, pp. 88-113)

浜田部員より、資料に基づき同試験の JGS 基準と JIS 規格に齟齬があるので青本改訂に先立ち作業を進めたいとの提案があり、審議の結果、承認された。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係
特になし

9. 技能試験実施委員会 関係

【3 月理事会審議】 (1) 2016 (平成 28) 年度技能試験報告会開催

(資料-28.6.8, p. 47)

藤原部員より、資料に基づき提案がなされ、審議の結果、承認された。

【3 月理事会審議】 (2) 平成 29 年度技能試験 会告 (5 月号)

(資料-28.6.9, p. 48)

藤原部員より、資料に基づき提案がなされ、審議の結果、承認された。

審議の際に、技能試験実施の収支について質問があり、利益が生じているとのことであった。

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係
特になし

11. 基準部所管刊行物
特になし

12. その他
特になし

報告事項

1. 理事会 (H29/1/27)、(H29/2/24) 開催報告 (資料-28. 6. 10, pp. 49-57)
 松本基準部長より、資料に基づき基準部関連の議事について報告がなされた。

2. 全体関係

- (1) JIS A1221 の正誤 (資料-28. 6. 11, p. 58)
 浜田部員より、資料に基づき説明がなされ、規格正誤票の「誤りの原因および対応」について、詳細に記載して JSA へ再提出するとのことであった。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 28 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)
	助成	受託		
・土木学会	0 万円	-	-	-
・日本建設業連合会	50 万円	-	-	-
・ISO/TC190 関係 (研究委託)	0 万円	-	-	-
・三菱総合研究所 (国際標準開発事業)		955 万円	○	3 月
小計	50 万円	955 万円		
合計	1,005 万円			

浅田部員より、上表に基づき、ISO 対応活動費について報告がなされた。

【3 月理事会報告】② 国際会議派遣 (資料-28. 6. 12 p. 59)

浅田部員より、資料に基づき、国際会議派遣について報告がなされた。

(2) 地盤工学表記法委員会

- ① 地盤工学用語 JIS 原案作成委員会 (作業委員会) 開催結果報告 (資料-28. 6. 13 p. 60)
 伊貝部員より、資料に基づき開催報告がなされた。

(3) 室内試験規格・基準委員会

- ① 委員会・WG 活動報告 (資料-28. 6. 14 pp. 61-63)
 大向部員より、資料に基づき各委員会および WG の開催報告がなされた。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

- ① 委員会・WG 活動報告 (資料-28. 6. 15 pp. 64-74)
 浜田部員より、各委員会および WG の開催報告がなされた。

- ② JIS 原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法) 報告 (資料-28. 6. 16 pp. 75-76)

浜田部員より、委員会開催報告がなされた。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

- ① 優良事業所認定制度
 次回、詳細な資料を送信して、メールで審議をすることになった。

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

- ① 進捗状況
 松本基準部長より、基準部会に先立ち実行委員会が開催され、Vol.3 を H29 年 7 月に完成させる予定であるとの報告がなされた。

(8) ウェブページ

特になし

(9) その他

- ① 2017 年版 JIS ハンドブック 編集委員会 (資料-28. 6. 17, pp. 77-82)

高柳部員より、資料に基づき委員会開催報告がなされた。

- ② 「過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法 (JGS 0271- 2016)」の冊子印刷部数および価格について

藤原部員が、販売見込み数を WG13 に確認をして、次回の部会で印刷数と価格について審議

を行うことになった。

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

●H28年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名	長	回数	委員会開催日, 太字は次回予定
基準部会	松本 樹典	6	4/26, 7/5, 9/2, 11/4,1/10,3/8
ISO 国内委員会	今村 聡		
・ TC182 国内専門委員会	木幡 行宏	1	2/24 (WG)
・ TC190 国内専門委員会	川端 淳一	1	12/6
・ ・ TC190/SC3/WG10 対応 WG (受託)	坂井 宏行	20	4/11, 4/15, 5/10, 5/13, 6/17,7/29, 8/8, 8/23, 9/6, 9/9, 9/21, 9/28, 10/17, 10/18, 11/7,11/9,11/11,12/14,12/22,1/13, 3/24
・ TC221 国内専門委員会	椋木 俊文		
室内試験規格・基準委員会	豊田 浩史	3	4/15, 6/17, 2/27
・ WG1 物理特性	杉井 俊夫	4	5/12, 6/22, 9/15, 10/22
・ WG2 化学特性	肴倉 宏史	5	5/30, 7/25, 10/12,1/26,2/24
・ WG3 透水・圧密特性	渡部 要一	1	9/15
・ WG4 力学特性	澁谷 啓	7	6/16, 8/23, 10/27, 11/16,12/2,1/18,2/27
・ WG5 安定化・締め固め特性	横田 聖哉	2	7/8, 8/22, 3/23
・ WG6 ジオシンセティックス	木幡 行宏	1	7/15
・ WG7 特殊土の試験	風間 基樹	1	9/13
・ WG8 赤本改訂版の総説執筆	豊田 浩史		
・ WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化	西垣 誠	1	9/13
・ WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂	大島 昭彦		
地盤調査規格・基準委員会	末政 直晃	3	8/10,12/14,2/24
・ WG1 物理探査・検層	斎藤 秀樹		
・ WG2 ボーリング・サンプリング	正垣 孝晴		
・ WG3 地下水	進士 喜英	3	7/5, 10/5,2/3
・ WG4 サウンディング	大島 昭彦	0	
・ WG5 載荷試験	大島 昭彦	1	1/20
・ WG6 現場密度試験	三嶋 信雄		
・ WG7 現地計測	上野 将司		
・ WG8 環境化学分析のためのサンプリング	江種 伸之		
・ WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査	長田 昌彦		
・ WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準化WG	西垣 誠	1	10/14,
・ WG11 動的コーン貫入試験方法JIS規格化WG	大島 昭彦	2	10/5, 10/20,
・ JIS原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法)	末政 直晃	6	10/24, 11/14, 11/30, 1/20 ,12/14, 2/24, 3/16 ,
・ WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG	伊藤 高敏	2	6/2, 9/26,
地盤設計・施工基準委員会	木幡 行宏		
・ WG1 土構造物	本城 勇介		
・ WG2 杭の水平載荷試験	中井 正一		
・ WG3 グラウンドアンカー	山田 浩		
・ WG4 サンドコンパクションパイル工法	寺師 昌明		
・ WG5 地山補強土	龍岡 文夫		
地盤工学表記法委員会	大島 昭彦		
・ JIS 原案作成委員会 (地盤工学表記法)	大島 昭彦	4	12/7, 1/18,1/27,2/14, 3/16
技能試験実施委員会	日置 和昭	1	1/19,

基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二	5	4/26, 9/2, 11/4, 1/10, 3/8
----------------	-------	---	----------------------------

峯岸幹事より、上表に基づき基準部関連の委員会、WGの開催について報告がなされた。

5. その他

- (1) 理事会（平成29年3月17日（金）、4月21日（金）書面）への審議事項・報告事項
議事録（案）中に【3月理事会審議】、【3月理事会報告】と明記した議案がそれぞれ理事会への審議事項および報告事項である。
- (2) 総務部会（平成29年3月10日（金）開催予定）への提案事項
特になし
- (3) 次回以降の部会開催日
 - ・平成29年度第1回： 次回はメール会議で部会を開催する（期間：4月20日(木)～4/27(木)）。
資料がある場合は、4月7日までに事務局提出すること。

（対応理事会 H29.1.27or 2.24 書面）

★ 平成28年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月20日（水） ※書面審議
 - ② 5月17日（火）
 - ★ 6月8日（水） 総会/理事会
 - ③ 6月15日（水） ※書面審議
 - ④ 7月28日（木）
 - ⑤ 9月29日（木）
 - ⑥ 10月28日（金） ※書面審議
 - ⑦ 11月25日（金）
 - ⑧ 12月22日（木） ※書面審議
 - ⑨ 1月27日（金）
 - ⑩ 2月24日（金） ※書面審議
 - ⑪ 3月17日（金）
-
- ⑫ 4月21日（金） ※書面審議
 - ⑬ 5月19日（金）
 - ★ 6月9日（金） 総会/理事会